

□ =



= =

= = 全中連 N E T 通信

= =

∞ ∞ ∞ 2025.8.7 ∞ ∞

= =

全国中小企業団体連合会（全中連）

= =

〒105-0004

= =

東京都港区新橋 4-14-1 新橋 AUN ビル 4 階

= =

TEL : 080-6582-2001

= =

e-mail : info@zenchuren.gr.jp

= = = = =

《目 次》

第 2 回ブロック代表者会議開催される	2
吉田会長からの会議でのご挨拶	3
九中連が総会を開催	4
最近の主な動き	5
今後の主な日程	5

第2回ブロック代表者会議開催される

吉田会長が参議院議員選挙で勝利し国会へ復帰

第2回ブロック代表者会議が7月30日（水）にZoomにて開催されました。

吉田会長が7月20日の参議院議員選挙の大分選挙区で207,250票を獲得し、前回の補選で敗れた自民党候補に13,973票差で当選を果たし国会へ復帰することとなりました。

会議では、吉田会長が多忙のところ途中から参加することができましたので、挨拶をいただきました。（3ページに内容を掲載）

会議では、報告事項として、各ブロックでの活動についての報告などがありました。東北ブロックは役員会を開き、コロナ以降開催できなかった総会を9月に開催するとの報告がありました。関東ブロックは9月5日に理事会を開き、10月に総会を開催できるように準備を進めているとの報告がありました。近畿ブロックでは幹事会を開き近況報告や意見交換をおこないました。九中連では7月25日に総会を開催したとの報告がありました。（内容は4ページに記載）

その後、協議事項にはいり、政策要望について議論されました。

労働福利厚生関係では「年収の壁の緩和・解消」「最低賃金の引き上げ」「健康保険・厚生年金の標準報酬からの通勤交通費の除外」などの事項について多くの意見が交わされました。

経済政策については「価格転嫁が進むような環境整備」「物価高対策」「インボイス制度の見直し」など、税制関係では「食料品の消費税の引き下げ」「ガソリン税の暫定税率の速やかな廃止とトリガー条項の凍結解除」などについて議論されました。

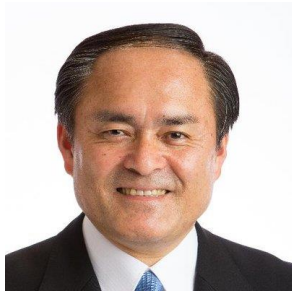
政策要望については8月中に内容をまとめて各省庁に提出する予定となっており、その時に担当者から要望内容についての回答いただくこととなっています。

続いて、全中連会費のあり方について議論がなされ、これまでの会議で提案された複数の案を含め、今後の会議でどのような会費の決め方がよいのかを詰めていくこととしました。

前回から議論になっていた事務局長についての規約の問題等については、いろいろ検討した結果、現行の規則のままでも運用上問題がないということで、当面改正は行う必要はないということになりました。また松原事務局長の辞任にともなう、後任の事務局長については当面永井事務局員が務めることとしました。

中研集会については、日時は11月6日（木）、7日（金）の2日間で、場所は例年と同じアートホテル日暮里 ラングウッドで開催することが確認されました。テーマについては、それぞれのブロックの会議などで検討していただき、特に若い人からも意見を聞いてテーマ案や要望を上げていただくようお願いしました。

吉田会長からの会議でのご挨拶



全国中小企業団体連合会（全中連）会長 吉田 忠智

先日おこなわれた参議院選挙大分選挙区で、厳しい闘いではありましたが当選させていただきました。皆様まことにありがとうございました。

思えば一昨年の参議院補欠選挙で、私が立候補しまして自民党女性候補との一騎打ちで 341 票差で惜敗をいたしました。以来、全中連の皆様には国会議員としての任務を果たすことができなくなりまして、大変申し訳ない思いでこの間活動して参りました。

折々にはブロック代表者会議でもご挨拶させていただき、陰に陽に激励をいただきまして、なんとか闘い抜くことができました。

今回は 1 万 4 千票近い差を付けて勝利いたしまして、倍返しならぬ 4 0 倍返しで勝利させていただきました。

後半はやはり自民党の底力で、企業の締め付けもありましたし、また 2 年前に岸田総理の声で県内 2 7 万世帯に録音テープが流されましたが、今回は自民党の候補者本人のオートコールも流されました。また、ドコモの携帯に候補者本人の要請メールが自動的に送られるようなこともあり、さらに小泉進次郎氏も 2 回応援に来るなど総力戦で相手も臨んできまして、かなり追い上げられたと思いましたが、私も前回の選挙で最後の詰めが甘く、勝利への執念が足りなかったとの反省も踏まえて頑張り抜き、選対に結集された皆さんも全力で頑張ってくださいました。

大分では大分方式といわれる連合を基軸とした、立憲民主党、国民民主党、社会民主党、そして野党系の吉良州司衆議院議員の枠組みで闘いました。また個別に共産党や維新の会にも要請をいたしまして、参政党などは候補を出しましたが、野党共闘はうまく機能して、最後はなんとかかわすことができたと思っております。

全体としては国民民主党が 4 議席から 1 7 議席まで議席を伸ばしましたし、社会民主党も政党要件を維持されて参議院で 1 議席を獲得しましたが、立憲民主党は現有 2 2 議席で議席数は変わりませんが、比例の議席では 4 番目となり事実上の敗北であり、厳しく総括して次に向かわなければならないと思っております。

衆議院に続き参議院でも野党が多数となりました。参政党も議席を大きく伸ばしまして、日本人ファーストということですが、日本の地域経済は外国人労働力抜きには成り立たなくなっておりまして、さまざまな問題が出てきており、インバウンドの増加やオーバーツーリズムの問題などありますが、一面だけ捉えて外国人を排斥するような言動は極めて問題があると思っております。参政党には核武装を主張する候補者がいたりして、こうした動きは警戒していかなければなりません。政党というよ

り宗教カルトのような印象を持っております。ただ、参政党に賛同して個人で寄付をしている人がかなりの数いるようで、単なる風だけで躍進したわけではないようで、由々しきことであります。

現実問題として、衆議院に続いて参議院も野党が過半数を握ったからといって、すぐに政権を取って代われるかという、それはなかなか難しいところがありますので、ここは経済政策では国民民主党などとも共通する点も多いですから、今回の参議院選挙で自公に多数を与えず、野党が多数となったという民意しっかり踏まえて、食料品の消費税を0%にすることや、ガソリンの暫定税率の廃止、学校給食の無償化など、そして今年の春闘におきましても、民間労組の皆さんが頑張っていて、昨年を上回る賃金の引き上げができましたけども、地場中小の格差は縮まっておりません。中小企業の経営者の方と話しますと、人手が欲しいので無理をして賃上げ交渉においても満額回答を出したという方もおられて、人件費、原材料費の価格転嫁をしっかりできるようにしてほしいと強く言われました。

それらのことは政府も問題意識をもってやっておりますけども、実際には契約関係も含めて元請と下請けの関係など契約の適正化もやらなければなりませんし、そうした後押しもしっかりやらなければならぬと思っております。

トランプ関税の影響を最小限に抑えるための経済対策を打たなければなりませんので、秋の臨時国会ではそのための補正予算を組んでいくことになると思います。

私も今回国会議員に復帰させていただきましたので、今後はまた全中連の会長としての役割と、全中連国会議員連盟の逢坂会長をはじめとする所属国会議員の皆様とも、私が2年数カ月不在であったために負担掛けてきておりましたので、しっかり連携をはかりながら、日本経済の中核を担っている中小企業の皆様の後押しをできるように、仕事をしていきたいと思っております。

九中連（全中連九州ブロック）が総会を開催

九中連（全中連九州ブロック）は、2025年7月25日、熊本県熊本市にて第49回定期総会を開催しました。

九州ブロックは所属する全ての単協から出席があり、今回は9名だったものの、例年通り顔を突き合わせての定期総会となりました。

定期総会の議事は各単協のご理解とご協力によりスムーズな審議となり速やかに閉会となりました。

なお、今回は役員改選の年でしたが、九中連会長（九州ブロック代表者）の野上さんが引き続き会長職を担っていただくこととなりました。

その後、全中連の現状について野上会長から説明をいただき、今後の活動や会費の在り方について議論を行ったところ、

各単協から多くの意見があり、とても充実した会となりました。

その後は、会場にて親睦を深め、九中連は今後もこれまでと同様に研修会は必ず実施し、会員への情報提供やサービスの充実を

図ることを確認して終了となりました。

（九中連事務局大分中小企業事務協会飯塚泰雄）

◎最近の主な動き

- 7月 25日 九中連定期総会〔熊本〕
- 7月 25日 東北ブロック役員会〔仙台〕
- 7月 29日 近畿ブロック幹事会〔大阪〕
- 7月 30日 全中連第2回ブロック代表者会議〔Zoom〕

◎今後の主な日程

- 9月 5日 関東ブロック理事会〔東京〕
- 11月 6日、7日 第39回中小企業問題研究集会〔東京〕